

# クリーブランド日本語補習校 剣道部員募集！

## “克己心”

### 剣道部体験入部とお餅つきParty!

5月1日 放課後約一時間

日本語補習校カフェテリア，2時30分—3時30分

午後4時以降、剣道部主催の“お餅つき大会” and Partyです。

場所は、補習校から15分ほどの所にある、松山宅で行います。

礼儀作法、竹刀（刀）の扱い方、構え、すり足のお稽古です。剣道の歴史、剣道を練習する意義も学びます。防具をつけた先輩達とのお稽古もあります。

入部資格：小学生一年生以上（ご家族の方も一緒にどうぞ）

### ご案内

5月1日以降は、Bally Fitness Center at Beachwood

（学校から車で10分ほどのところ）において、毎週土曜日、午後3時から5時まで、正式な部活動を始めます。部費は：（1）月額\$30（お一人の場合）、あるいは（2）\$45（ご家族で、二人以上の場合）、です。これらの費用は、ジムの使用料と、万が一の事故の時の保険に当てられます。指導に当たる先生方は、全員ボランティアです。

土曜日のお稽古以外に、月に一回程度、コロンバスにて、オハイオ州、ケンタッキー州、ペンシルバニア州の剣道仲間と合同稽古があります（参加は自由です）。デトロイトには、アメリカ唯一の八段の先生（田川先生）がいらっしゃいます。田川先生の道場の練習にも参加できます。

昇級昇段審査ならびに試合は、毎年2月（デトロイト）、4月（クリーブランド）、10月（シカゴ）、11月（コロンバス）に行われます。

ご関心のある方は、松山茂実までご連絡ください。

電子メール：[shigemi11@yahoo.com](mailto:shigemi11@yahoo.com) 電話：216-659-8275



# クリーブランド日本語補習校 剣道部 指導方針

## 道場訓

克己心

礼讓を甲冑となす（佐藤一斎『言志四録』）

春風秋霜（“春風をもって人に接し、秋霜をもって己に対する”佐藤一斎『言志四録』）

積小為大（二宮尊徳の言葉“大事をなさんとするもの、小さきを積み重ねて大をなすべし。およそ、小人の常、大なることを求めて小なることを軽んじ、遂に大をなすことあたわず。一俵の米も、一粒の米よりなることをしるべし）

## 礼儀作法を身につける。

これは、何百回も、何千回も行い、一年、5年、10年と続けることで、ようやく風格として身に付き、構えや姿勢の中に強さが培われていくものです。刀をもち、袴をつけた状態（つまり正装です）で、どのように立ち居振る舞いを行うかを毎回、お互いに練習していきます。この礼法ができていないと、昇段試験には受かりません。剣道や弓道では、空手や柔道と違い、袴をつけて練習をします。これは、正装をして道を修養し、誇りを重んじた戦い方を学ぶためです。礼の仕方から始まり、着装（服の着方）、歩き方、先生や先輩後輩に対する接し方（目上より先に立たない、目上の人の前を横切らないなど、後輩には打たせる機会を与え、先生や先輩には思い切りかかっていく、など）。

## 自分のことは自分で行う。

自分で袴、稽古着をたたむ。

竹刀、防具のかたづけも自分で行う。

道具を大事にすることを学ぶ。

## 日本の伝統から生まれた道徳観、人生訓を理解し、暗唱する。

剣道の昇段試験では、筆記試験があり、武道から生まれた言葉や人生訓などを、その意味とともに覚えておく必要があります。例えば、『打って(勝って)反省、打たれて(負かされて)感謝』『不動心』『平常心』『明鏡止水』『守破離』『己の実をもって相手の虚を打つ』『懸待の一致』『四戒（疑わない、惑わない、怖れない、驚かない）』などです。これらの言葉を、稽古前に唱和して、武士道から生まれたものの考え方を学んでいきます。

## 剣道教室の進め方。

小学3年生以下は、防具をつける前に、最低一年は礼儀作法、基本動作を学びます。小学生四年生以上は、半年から一年で、防具をつけて、試合や4級の試験を受けることを目指します。初段は、13歳以上でなければ受験資格がありませんので、初段は、中学生以上からの受験となります。試合および審査も3回は、車で日帰り可能な場所で開催されます（クリーブランド、コロンバス、デトロイトなど）。